

NPOの広域ネットワーク化の支援

1 概要

県の中間支援のあり方として、団体同士の交流・情報交換の機会創出や連携の枠組みづくりのため、県のスケールメリットを活かし、市町の区域を越えた広域ネットワークづくりを支援している。

2 経緯

時期	内 容
H28	FNCのあり方検討 ・県の役割を以下のとおり整理した。 ①情報センター機能、②中間支援人材育成機能、③市町補完機能
H29～	市町の市民活動センター未設置の伊豆地域の中間支援のあり方検討 ・伊豆地域の団体同士の交流・情報交換の機会の創出のため、県は、市民活動関係者間のネットワークづくりを支援する。
R 元～	伊豆地域市民活動ネットワーク立ち上げ ・推進協力団体を中心に、加入団体の活動発表や交流会を開催。
R 3～	市町の市民活動センター等との意見交換 ・NPOから「いろいろな角度での交流会があると幅が広がる」との意見があったことを踏まえ、県は、従来の地区別のネットワークづくりだけでなく、テーマ別のネットワークづくりも支援する方向性を整理。
R 5	竹林に係る団体ネットワーク立ち上げ 子育て支援に係るネットワーク立ち上げ 若者団体交流会を開催（ネットワーク立ち上げに関するアンケート実施中）

3 県が運営支援している広域ネットワークの概要

（令和5年12月末現在）

名称	活動内容	設立	加入数
伊豆地域市民活動ネットワーク	・SNSを活用した情報発信 ・推進協力団体による地区別交流会 ・加入団体の活動発表及びミニ交流会	R元年度	140
竹林に係る団体ネットワーク	・竹林に関する講演会及び交流会 ・SNSを活用した情報発信及び交流 ・加入団体のマッピング	R5年度	59 ※
子育て支援に係る団体ネットワーク	・子育て支援と防災に関する講演会及び交流会 ・SNSを活用した情報発信及び交流 ・加入団体のマッピング	R5年度	68 ※

※ facebook グループへの登録数

4 将来像

ネットワークの活発化、持続可能な運営（企画・運営の担い手、資金確保等）